# 議会報告

2014年3月

八王子市議会議員　鳴海ゆり

## ◆都市計画道路 今後見直しはされるか

八王子市内に80本ある都市計画道路の整備率は現在約75％。50年以上も続けている計画で廃止になったものは一つもありません。

Q:第4次事業化計画に向けて都市町策定検討委員会と市町検討会が開かれているが、すべて非公開なのはなぜか？

A:いわゆる社会的影響が大きいため。公開を求める考えはない。

Q:東京都のパブコメだけでは不十分ではないか。市レベルでも市民参加で意見を聞く必要があるのでは。

A:八王子市新総合都市交通体系整備計画の見直しの中でパブコメの実施もしたいと考えている。その中で都市計画道路についても議論されると感じている。

Q:千葉県、埼玉県、神奈川県では見直しガイドラインが策定され、様々な路線が見直し 廃止されている。市でも見直しガイドラインが必要では。

A:広域的、総合的な観点から都や他の自治体との整合を図りながら検討を進めていくことが適当。

◆その他、農地バンク・特別支援教育 雪害対策などについて質問しました。

（予算総括質疑より）

## ◆高齢化社会に向けたまちづくりを

八王子では2020年をピークに、人口減少がはじまり、2050年には高齢率36.7％、特に川口・恩方・元八王子の西部地域は45.3％にまでに達すると予測されています。

Q:歩いて行ける地域に、いつでも誰でも相談ができたり、交流のできる拠点が必要では。

A:高齢者の交流の場としてサロンを実施しているが、増設や、常設化の支援をしていきたい。

Q:高齢化の進む団地では空き家の増加は避けられない。住宅マスタープランの中でも住宅ストックを地域コミュニティの拠点に活かすと書かれているが、空き家の活用をどのように進めていくのか。

A:空き家は個人の資産なので所有者の意向が重要。今後ニーズや状況を注視していく。

Q:空き家・空き地の活用について人口減少、高齢社会を見据え、都市計画の観点ではどのようなまちづくりをめざすのか。

A:都市計画マスタープラン改定作業の中で議論されている。当然この課題が顕著化されてくるので、安心して快適に暮らせる住環境の形成の観点から検討する。

Q:経済成長に頼らず、今ある資源を生かしながら、必要なサービスの量や質を保障することを重視したまちづくりこそ、市民が求める攻めのまちづくりでは？

市長:全庁的に地域包括システムの構築に取り組み、高齢者がいつまでも住みなれた地域で安心して生活できるよう努める。

## ◆医療刑務所跡地の活用をどうする？

昨年、八王子駅南口周辺まちづくり計画が策定され、子安町の医療刑務所移転後の跡地については「新たな集いのゾーン」まちづくりの核」と位置付けられています。生活者ネットでもワークショップを行い、様々な意見を集め、今回の提案につなげました。

Q:市内には高齢者も学生も子連れの方もすべての世代がゆったり過ごせる空間が足りていない。例えば図書館と公園など、文化とみどりを享受できる場所が必要では

A:まずは活用計画を策定するにあたっての考え方、将来イメージを作り上げていく。具体的内容は順次検討していく。

（一般質問より）

## ◇都政情報◇

### リニア新幹線、本当に必要ですか？！

2014年中の着工を目指し、リニア中央新幹線計画が動き始めていますが、エネルギー浪費・電磁波公害・自然環境破壊・事故の危険性・採算が見込めないなど多くの問題を抱えています。

2027年の先行開業を目指す東京・名古屋間は8割がトンネル構造で、総工費は5兆円とも言われ、事業主であるJR東海の社長でさえも「リニアはペイしない」というほど採算性も危ぶまれています。品川を出発して大田区や世田谷区をかすめ、町田市を経て相模原で最初の駅ができるまで、すべて地下40ｍ以下の大深度方式が採用されます。さらに山梨県や長野県では南アルプスの地下を掘りぬくことになり、安全性や大量に発生する土砂の運搬・処理対策の不備、地下水脈や伏流水の分断・枯渇等が懸念されています。

現在進行中の環境アセスメントで、環境影響評価準備書に対する都知事の意見書では、大気・水質など幅広い項目での具体的な説明や、騒音や振動の発生源と学校、病院、福祉施設との明確な位置関係の提示等を求めています。

原発に頼らない、省エネルギー社会を目指そうとしている今、在来新幹線の3倍超という膨大な電力を消費するリニアの、超高速走行を進めることは時代に逆行しています。このように大事なことを鉄道会社まかせにして進めるのは、電力における原発推進と同じで、国の責任放棄と言わざるを得ません。

## 活動トピック

4月　お花見＆はつらつタイム
高尾駒木野庭園

2月　まち歩きワークショップ

2014 年度総会で２期目にチャレンジする決意表明をする鳴海ゆり

### ウイークエンドフォーラム

5/31(土) 13:30～15:30
山田真さんに聞く
予防接種のはなし
会場:アミダステーション
（八王子市東町 3-4）

### はつらつタイム

7/15（火）13:00～15:00
カフェこすもす（片倉町 440-15）

## 生活者ネットワーク 3つのルール

**生活者ネットワークは都内 34 の自治体に地域ネットをもつローカルパーティです。**

地域の課題に取り組むと同時に、市・区をこえた「東京問題」には全体でとりくんでいます。

**1、議員はローテーション**

八王子では最長2期（8年）で交代します。議員を職業化・特権化せず、人が交代することで、参加の層を広げます。任期を終えた議員は、市民政治を広げるための活動や地域活動などにその経験を生かします。

**2、議員報酬は市民の政治活動資金に**

議員報酬は市民の政治資金として使います。お金の流れは公開し、政治資金の透明化を図っています。

**3、選挙はカンパとボランティアで**

選挙は政治に参加する入口です。お金（カンパ）と知恵や力（ボランティア）を出し合い、選挙を行います。